



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

**▲ 警告** …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲ 注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲ 警告**

●浴室など湿気の多い場所への取付けは、感電や漏電・故障の原因となりますので絶対におやめください。

**▲ 注意**

●電気配線工事は必ず電気工事の有資格者が行ってください。又、電源線の接続は感電するおそれがありますので、電気が通っていないことを確認してから行ってください。

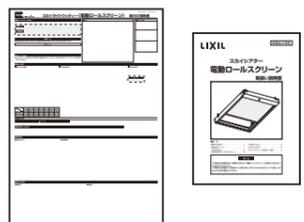
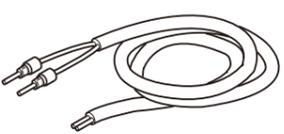
●取付けねじはゆるみ・ガタツキのないように締め込んでください。締め込まれていないと、ロールスクリーンが落下し、ケガを負うおそれがあります。

●ロールスクリーン本体を手で下に引張り、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

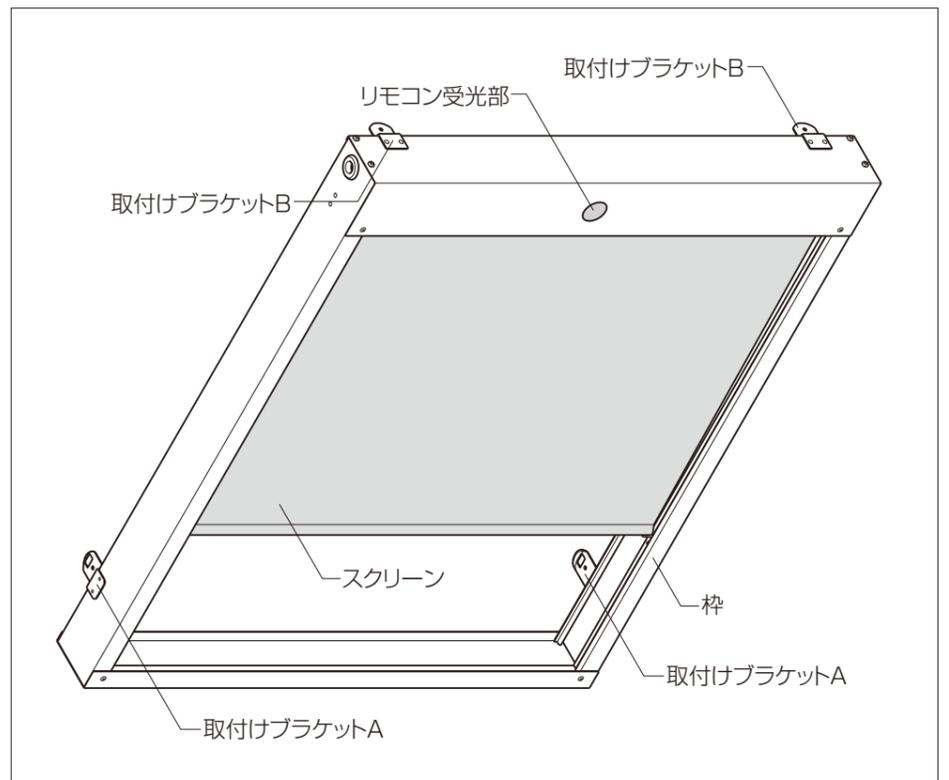
■施工上のお願い

●ロールスクリーンを取付ける天井面には額縁をつけないでください。故障した場合、ロールスクリーン本体が取外せなくなります。

■部品一覧表

取付け用ねじ	取付け説明書・取扱い説明書	電源線(2m)
 ナベタツピンねじ φ4×20(6本)		

■姿図



■取付け順序

1 開口寸法の確認

2 本体の仮固定

3 本体の本固定

■取付け詳細

1 開口寸法の確認

●下表によりブラケット取付け部寸法・製品寸法を確認してください。

※ブラケット取付け部寸法は、標準タイプが基本寸法(H×W)、高遮蔽タイプが開口寸法(kH×kW)となります。

(納まり図を参照してください。)

※標準タイプの場合は、ロールスクリーン本体が納まるように内装を仕上げてください。

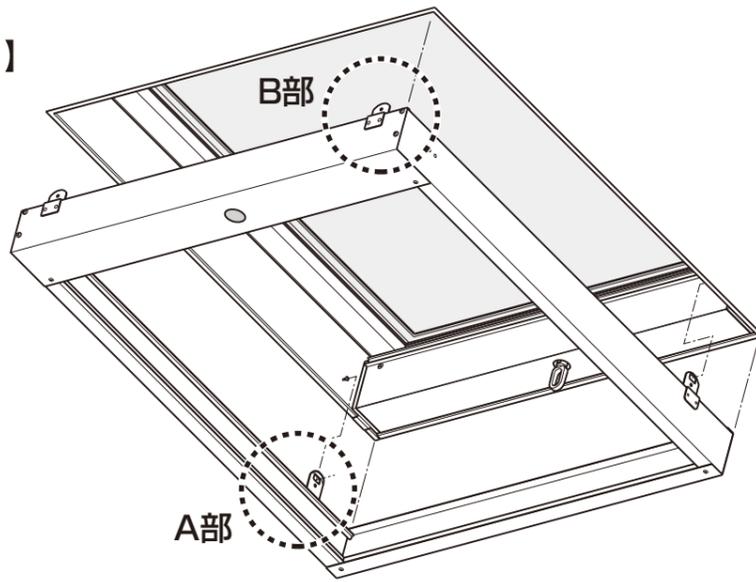
※高遮蔽タイプの場合は、サイズにより中央に生地だれ防止のためワイヤーが入る機種があります。(H11、H12)

呼称		05405	06905	05408	06908	12905	12908	09905	09911	06912
		H×W	H×W	H×W	H×W	H×W	H×W	H×W	H×W	H×W
標準	ブラケット取付け部寸法(mm)	502×542	502×692	802×542	802×692	502×1292	802×1292	502×992	1102×992	1252×692
	製品寸法(mm)	515×556	515×706	815×556	815×706	515×1306	815×1306	515×1006	1115×1006	1265×706
高遮蔽	ブラケット取付け部寸法(mm)	522×562	522×712	822×562	822×712	522×1312	822×1312	522×1012	1122×1012	1272×712
	製品寸法(mm)	535×576	535×726	835×576	835×726	535×1326	835×1326	535×1026	1135×1026	1285×726

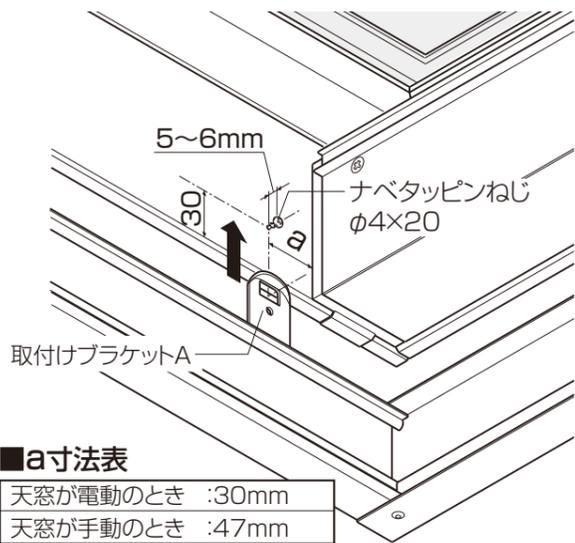
## 2 本体の仮固定

- ① 取付けブラケットA取付けねじ(ナベタッピンねじφ4×20)で縦側木枠(高遮蔽の場合は内装ボード)に取付けます。(図-1)  
この時、ねじはいっぱいまでは締込まず、取付面から5~6mm離れたところまでとしてください。
  - ② ロールスクリーン本体の取付けブラケットAを先ほど取付けたねじに引掛けます。
  - ③ ロールスクリーン本体上枠の取付けブラケットBをナベタッピンねじ(φ4×20)で棟側木枠(高遮蔽の場合は内装ボード)に固定します。
- ※高遮蔽の場合、ねじ止め部は下地材で補強してください。

【図-1】



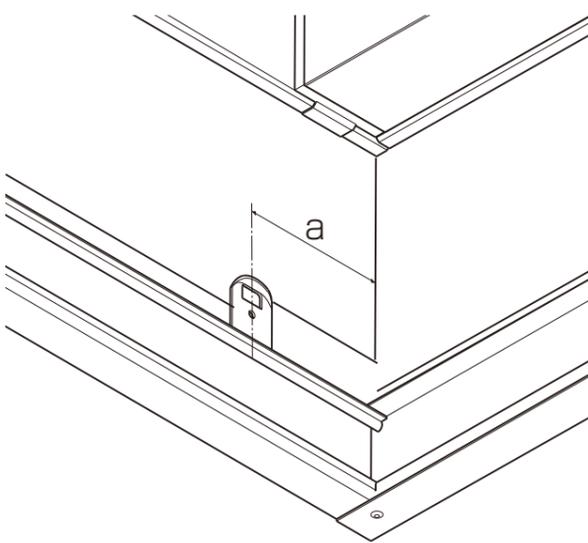
### ■A部詳細図(標準タイプ)



#### ■a寸法表

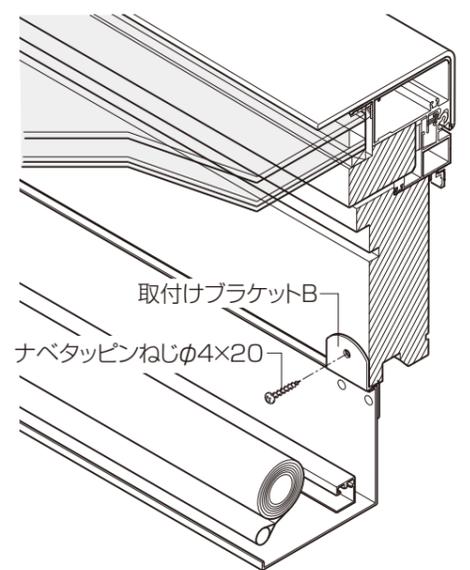
天窓が電動のとき	:30mm
天窓が手動のとき	:47mm
天窓がFixのとき	:91mm

### ■A部詳細図(高遮蔽タイプ)



■a寸法:101mm

### ■B部詳細図

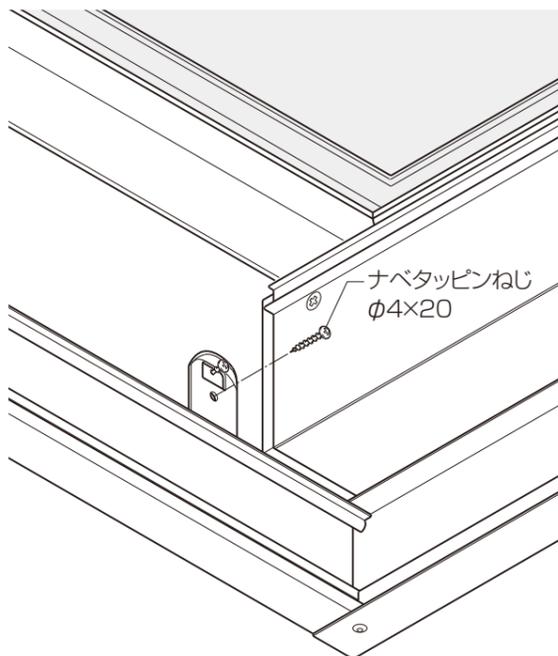


## 3 本体の本固定

- 仮止めしたロールスクリーン本体の取付けブラケットAをナベタッピンねじで本固定します。

### ▲ 注意

- ロールスクリーン本体を手で下に引張り、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。



## 電気工事

### ▲ 注意

- 電気配線工事は必ず電気工事の有資格者が行ってください。又、電源線の接続は感電するおそれがありますので、電気が通っていないことを確認してから行ってください。

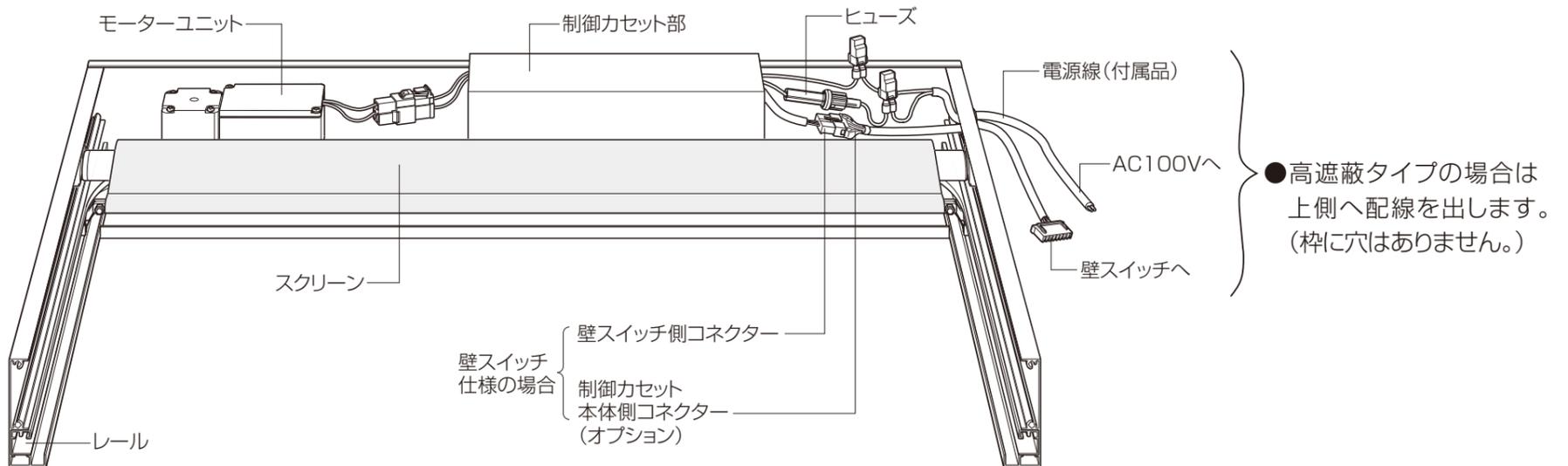
### ■電気配線上のお願い

- AC100V以外の電源は使用しないでください。
- ACコードおよび壁スイッチコードは強く引張らないでください。
- 電源とACコードの結線は、ジョイントボックス(別途手配)を使用してください。
- 壁スイッチは当製品専用のもの以外は使用しないでください。
- 壁スイッチ1個で複数台のロールスクリーンは操作できません。
- 内装材にあける配線用の穴はφ20mm以上としてください。

## 配線順序

### 結線のしかた

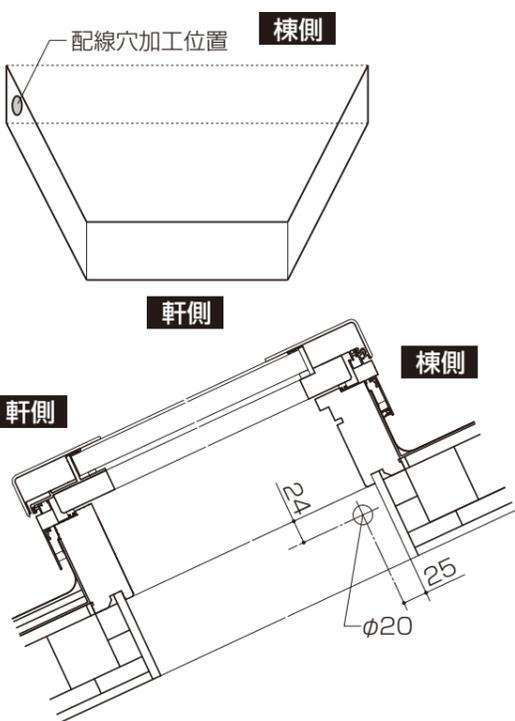
- ① 本体付属の電源線をAC100V電源に接続します。
- ② 壁スイッチを使用する場合、接続コードの本体側コネクタと制御カセット側のコネクタを確実に接続します。(リモコン使用の場合は、この作業は必要ありません。)



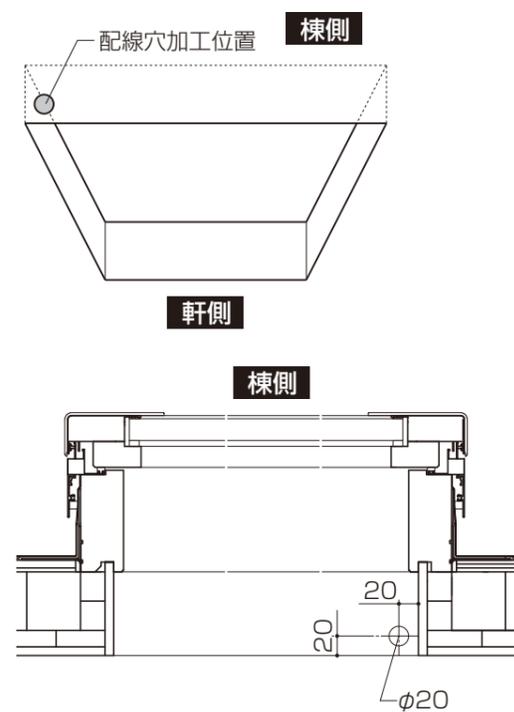
### 配線穴加工位置図

- 事前に内装へ配線穴をあける場合は、下図を参考に加工してください。

#### 【標準タイプ】

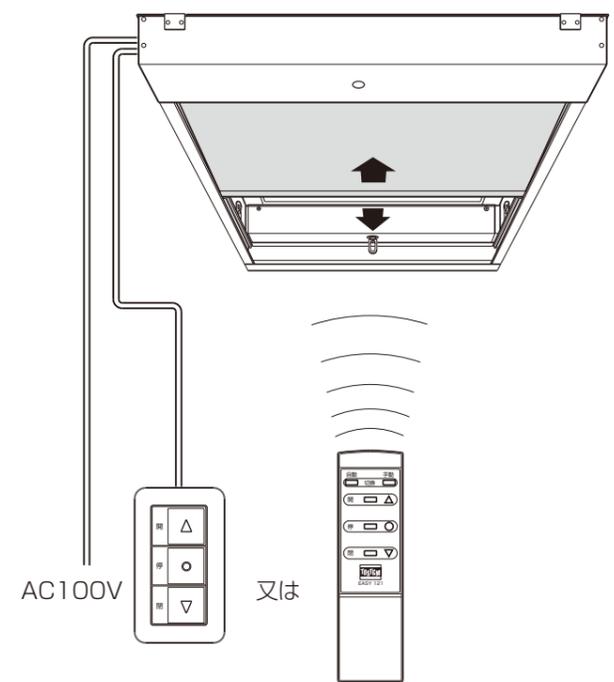


#### 【高遮蔽タイプ】



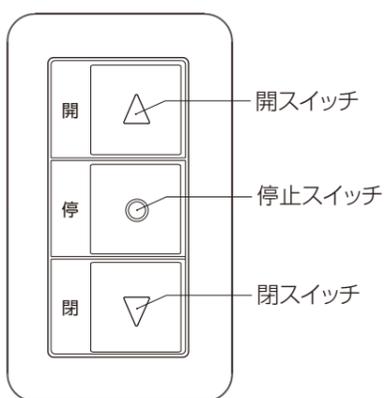
### 作動確認

- 本体の取付け後、仮配線をして作動の確認を行ってください。
- ※ 詳しくは取扱い説明書をご覧ください。



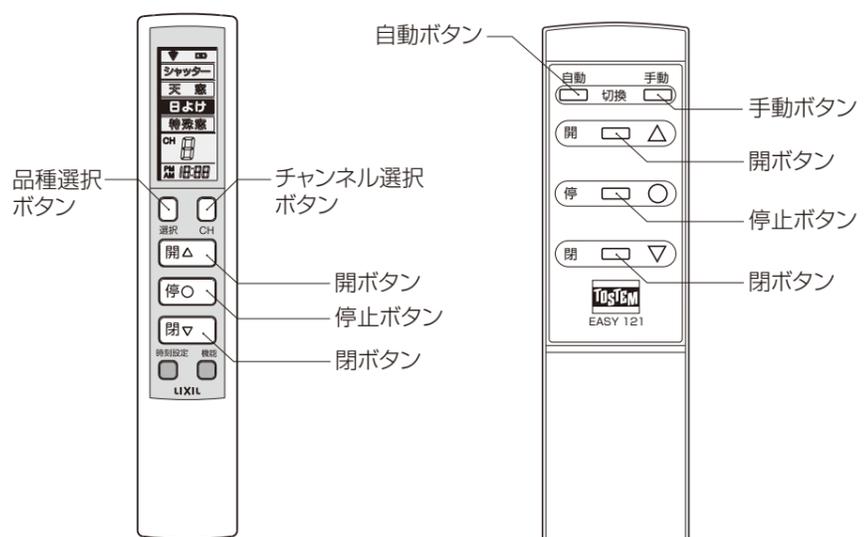
#### 【壁スイッチの場合】

- ・ 開又は閉スイッチを押すとスクリーンが作動します。
- ・ 停止スイッチを押すとスクリーンはその位置で止まります。



#### 【リモコンの場合】

- ・ 開又は閉ボタンを押すとスクリーンが作動します。
- ・ 停止ボタンを押すとスクリーンはその位置で止まります。
- ※ 共通リモコンの場合は品種選択ボタンを押して"日よけ"を表示させて操作してください。
- ※ 赤外線リモコンの自動および手動ボタンはロールスクリーンの操作には関係ありません。



(例:共通リモコン)

(赤外線リモコン)

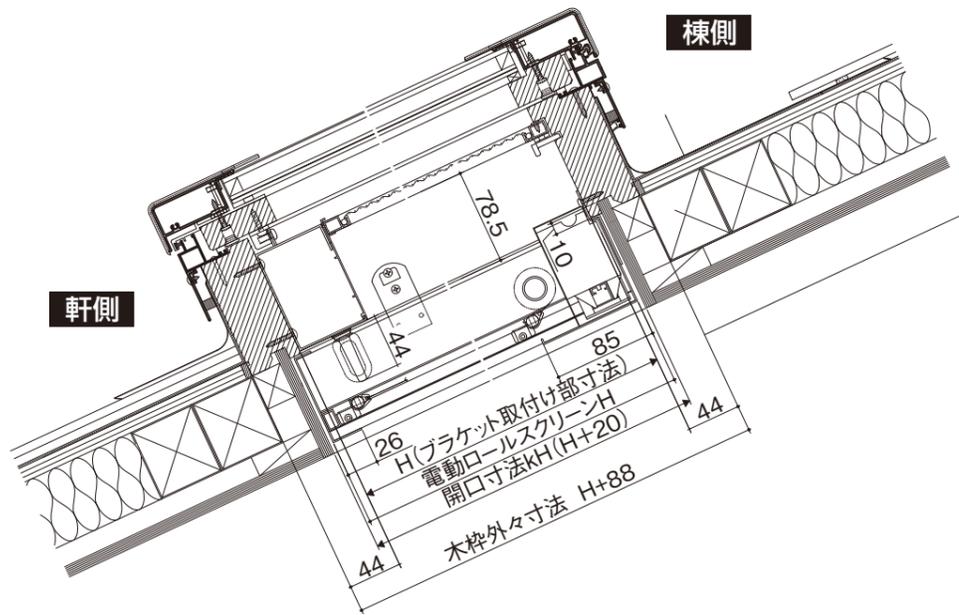
#### お願い

- リモコンの操作範囲は、受光部の正面から直線で赤外線リモコンは6m、共通リモコンと単機能リモコンは9mです。

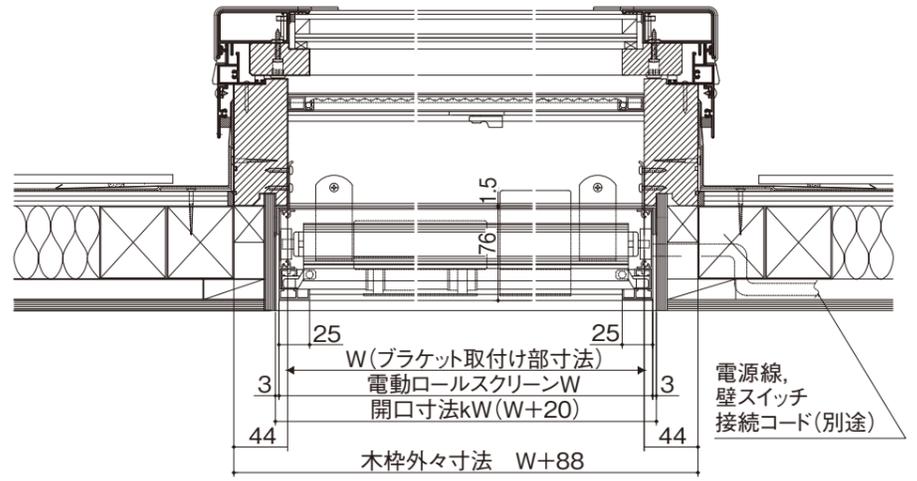
■参考納まり図

■標準タイプ

●縦断面図

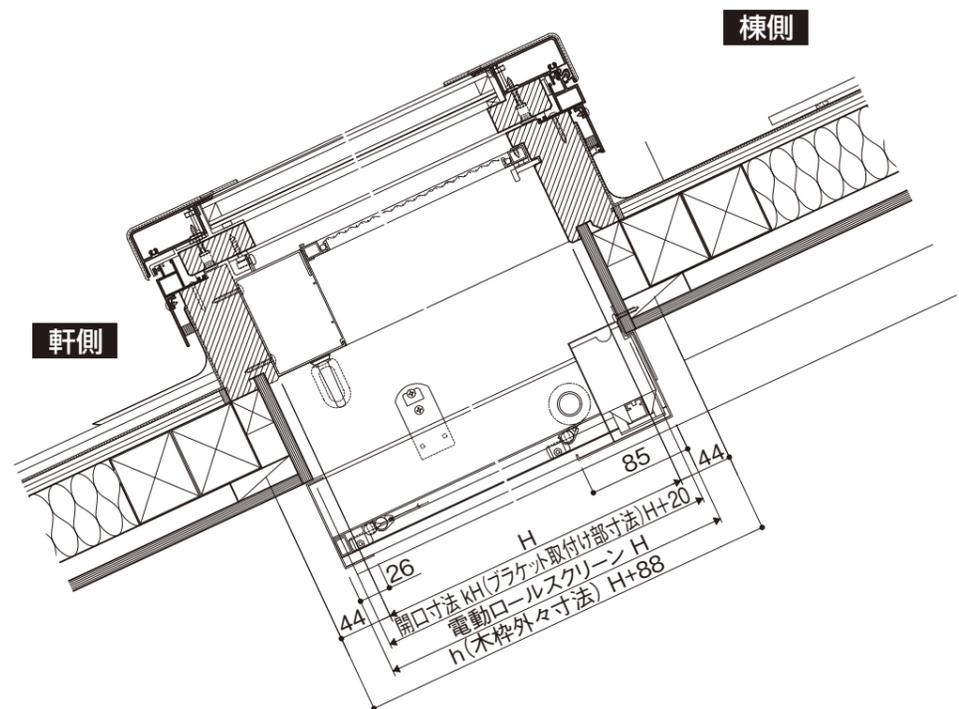


●横断面図



■高遮蔽タイプ

●縦断面図



●横断面図

